

その他

1 実地調査について

地方税法第353条及び第408条の規定により、資産税課職員が償却資産の評価等のために問い合わせや、実地調査を行うことがあります。調査を実施する場合は、あらかじめ連絡いたしますので、御協力を願います。なお、検査拒否にあたる場合には、地方税法第354条の規定により、1年以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金を科されることがあります。

また、実地調査に伴う申告内容の修正や申告漏れ等が発覚した場合には、現年分だけではなく、資産を取得した翌年まで遡及することになります。※最大5年分（地方税法第17条の5第5項）

加えて、過年度分について追加課税となった場合は、通常の納期とは異なり、一括での納付となります。

2 注意事項

- 個人番号を記載した申告書を提出する場合は、番号法に定める本人確認が必要となります。
マイナンバーカードまたは、番号及び身元確認書類の写しを添付してください。ただし、個人番号の記載や本人確認書類の添付がない場合でも、申告書は有効なものとして受け付けます。
- 申告書を郵送される方で、控えの返送を希望する場合、必ず返信用封筒に料金相当分の切手を貼付してください。
- 種類別明細書（提出用）の控えが必要な場合は、お手数ですがコピーをお取りください。
- 商号変更、事業所等の移転、廃業及び解散、個人事業主からの法人成り、相続による資産継承等については、年月日等を備考欄に記入してください。（例：令和〇年〇月〇日 廃業）
- 今年度の申告後、過年度分の未申告又は申告漏れ等が発覚した場合、資産を取得した翌年まで遡及して申告が必要となります。（※最大5年分）

各申請様式、記入例及び償却資産の概要是つくば市のホームページからも御確認いただけます。

（下記QRコード又はアドレス参照）



<https://www.city.tsukuba.lg.jp/kurashi/zeikin/shisan/1001069.html>

つくば 償却資産

検索

償却資産の申告は、eLTAX 地方税ポータルシステムによる電子申告を推奨しています。



eLTAX 地方税ポータルシステムサイト
<https://www.eltax.lta.go.jp/>

エルタックス

検索

令和8年度 償却資産（固定資産税） 申告書記入例

提出期限 令和8年2月2日（月）

提出先 〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
つくば市 財務部資産税課 償却資産係

※市内各窓口センターでも御提出いただけます。

市税につきましては、平素より格別の御協力をいただき厚く御礼申し上げます。
さて、償却資産の申告の時期が近づいてまいりましたので、申告の手引により御案内させていただきます。

償却資産申告書の提出期限は令和8年2月2日（月）ですが、期限間近になりますと受付や問合せで窓口が混雑しますので、令和8年1月19日（月）までの提出に御協力ください。

前年に資産の変更がなかった場合は、申告書「18 備考（添付書類等）の『1. 前年中資産の増減なし』」に○をつけて提出いただきますようお願いいたします。



つくば市役所財務部資産税課

【問合せ先】 電話 029-883-1111（代表）

（内線）2712

市税総合窓口

申告書の記載方法、提出先などに関するこ

（内線）2720、2721

償却資産係

課税内容や課税標準の特例などに関するこ

償却資産申告書の書き方

全員提出

1 儻却資産申告書（償却資産課税台帳）の記入例

<住所・氏名>

郵便番号、住所、氏名は、昨年までの申告に基づいて印字しています。

●氏名のふりがな及び電話番号を記入してください。

※印字内容に変更がある場合、抹消線を引き、余白に正しい内容を記載してください。

受付印		令和 8 年 1 月 ○ 日		令和 8 年度 償却資産申告書（償却資産課税台帳）																					
所 有 者	1 (ふりがな) 住 所	〒 305-8555 つくば市研究学園一丁目 1 番地 1 (電話 029-883-1111)											※ 所 有 者 コ ー ド ○○○○○○○○												
	(又は納税通 知書送達先)												3 個人番号又 は法人番号	8 短縮耐用年数の承認 有・無											
	2 氏 名 (法人にあつ てはその名 称及び代表 者の氏名)												4 事業種目 (資本金等の額)	9 増加償却の届出 有・無											
												5 事業開始年月	10 非課税該当資産 有・無												
												6 この申請に応答す る者の氏名	11 課税標準の特例 有・無												
												7 税理士等の氏名	12 特別償却又は圧縮記帳 有・無												
													13 税務会計上の償却方法 定率法・定額法												
													14 青色申告 有・無												
資産の種類		取 得 働 額				前年前に取得したもの (イ)				前年中に減少したもの (ロ)				前年中に取得したもの (ハ)				計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)				15 市(区)町村内 における事業所 等資産の所在地		① つくば市研究学園一丁目1番地1 ② ③	
1 構築物		十億	百万	千	円	0	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円							
2 機械及び 装置					0																				
3 船 舶					0																				
4 航 空 機					0																				
5 車両及び 運搬具					0																				
6 工具、器具 及び備品		13	878	000																					
7 合 計		13	878	000														13	878	000					
資産の種類		評 働 額 (ホ)				※ 決 定 働 格 (ヘ)				※ 課 税 標 準 額 (ト)				16 借用資産		17 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家									
1 構築物		十億	百万	千	円	0	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円											
2 機械及び 装置					0																				
3 船 舶					0																				
4 航 空 機					0																				
5 車両及び 運搬具					0																				
6 工具、器具 及び備品					0																				
7 合 計					0																				
<評価額(ホ)～課税標準額(ト)> 原則記入の必要はありません。ただし、電算処理により 全資産申告を行う場合は、課税標準額を記入してください。												18 備考 (添付書類等)		該当する番号に○印をつけてください。											
														① 前年中資産の増減なし											
														2. 前年中資産の増減あり(増加・減少)											
														3. 該当する資産なし											
														4. 全資産削除											
														5. 廃業・解散(年月日)											
														6. 転出(年月日)											
														7. その他											

- ◆この償却資産申告書（償却資産課税台帳）は全員提出してください。
- ◆前年度に取得した資産がある場合は、別途種類別明細書（増加資産・全資産用）を提出してください。（記入例は次のページにあります。）
- ◆前年度に減少した資産がある場合は、別途種類別明細書（減少資産用）を提出してください。（記入例は次の次のページにあります。）
- ◆すでに廃業・解散している場合も、備考欄の該当する番号に○を付けて提出してください。

<市内における事業所等資産の所在地>

- 所有者住所以外の場所に資産を保有している場合、また複数の事業所等がある場合には、その所在地を記入してください。

※複数の事業所等がある場合には、主たる事業所等の番号を○で囲んでください。

<備考>

- 該当する番号に○を付けて提出してください。

1. 前年中資産の増減なし
→前年中に保有資産に変更がなかった場合
2. 前年中資産の増減あり(増加・減少)
→前年中に資産に変更があった場合
3. 該当する資産なし
→償却資産を保有していない場合
4. 全資産削除
→今までの資産をすべて処分した場合
5. 廃業・解散(年月日)
→廃業・解散を行った年月日を記入してください
6. 転出(年月日)
→事業所が移転した年月日を記入してください
7. その他
→下記のような特記事項があれば記入してください
 - ①所有者死亡による相続の場合
(○年○月○日 ○○○○死亡により相続)
 - ②企業合併等による事業の継承
(○年○月○日 ○○○○より事業継承)
 - ③法人成(個人から法人へ財産継承)する場合
(○年○月○日 ○○○○から資産継承)
 - ④資産の売却・譲渡
(○年○月○日 ○○○○へ売却・譲渡)

2 種類別明細書（増加資産・全資産用）の記入例

該当者のみ提出

＜資産の種類＞

- 資産の種類は、下記のうち、該当する番号を記入してください。

1. 構築物(建物附属設備)	2. 機械及び装置
3. 船舶	4. 航空機
5. 車両及び運搬機	6. 工具、器具及び備品

<取得年月>

- 資産を取得した年月を記入してください。
なお、年号は下記の番号またはアルファベットを使用してください。
 - ・ 昭和 → 3 または S
 - ・ 平成 → 4 または H
 - ・ 令和 → 5 または R

◆この種類別明細書（増加資産・全資産用）は該当者のみ提出してください。

◆資産の種類、資産の名称等、数量、取得年月、取得価額、耐用年数は必須記入項目です。
記入漏れがないように注意してください。

◆全資産で申告する場合は、前年度の申告から増加した資産が判別できるよう、増加事由を漏れなく記入してください。

◆行数が足りない場合は、お手数ですがコピーしてお使いください。

令和 8 年度

種類別明細書（増加資産・全資産用）

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他のい

すれかに〇印を付けてください。

3 種類別明細書（減少資産用）の記入例

該当者のみ提出

〈抹消コード〉

同封の種類別明細書（増加資産・全資産用）の左部にある資産コードを必ず記入してください。

- ◆この種類別明細書（減少資産用）は該当者のみ提出してください。
- ◆減少資産の申告は、同封の種類別明細書（増加資産・全資産用）に抹消線を引き提出することもできます。その場合は、減少事由を摘要欄に記入して下さい。
- ◆行数が足りない場合は、お手数ですがコピーしてお使いください。

令和 8 年度

※ 所有者コード	※
○○○○○○○○○○	

種類別明細書(減少資產用)

行番号	資産の種類	抹消コード	資産の名称等	数量	取得年月			取 得 価 額		
					年	月	単位	十億	百万	千円
01	1	0 0 0 0 9	コンクリート舗装	1	4	21	4	4	909	800
02	1	0 0 0 1 1	パーテーション	1	4	21	4		899	850
03	5	0 0 0 0 5	フォークリフト	1	4	25	4	1	665	300
04	6	0 0 0 9 0	パソコン	2	4	30	4		601	650
05	2	0 0 1 0 0	自動梱包機	1	4	26	4	3	000	000
06										
07										
08			(資産の種類) 該当する番号を記入してください。							
09			1. 構築物（建物附属設備） 2. 機械及び装置 3. 船舶 4. 航空機 5. 車両及び運搬具 6. 工具、器具及び備品							
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
					小 計				11	076:600

第二十六号様式別表二(提出用)

〈摘要〉

減少した事由について、具体的に記入してください。

①売却の場合
 売却先の名称等

②滅失の場合
 滅失の理由等

③移動の場合
 移動資産の受け入れ先所在地等

④その他
 一部減少の場合などは、その内容